

令和元年度 矢作中学校 総合的な学習の時間全体計画

矢作中学校の総合的な学習の時間の目標	
①地球や地域の現状を知り、課題を見つけることができる生徒の育成 ②異なる意見や他者の考えを尊重し、協同して課題を解決しようとする生徒の育成 ③自らの生活を見直し、日常的に実践する生徒の育成	
生徒の実態	地域の実態
素直で前向きに学習に取り組むことができる。級友と意見を交わしながら議論を深める力を身に付けていきたい。	矢作川などの自然に囲まれ、地域の行事も多い。地域の特色を生かした学習教材を用いることができ、生徒の興味・関心を高めることができる。

学年別学習計画		第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
		環境学習プログラム（環境） 矢作地区の特色（3つの小学校区）を生かした学習	キャリア学習（生き方） 職場体験を軸に、これからの生き方を考える学習	より良い自分を目指す（進路） 修学旅行の班別学習を軸に、1人1人の社会的自立を目指す学習
学 習 活 動	1 学期	・自分の小学校の良いところを紹介し合おう	・職場体験学習とその振り返り	・修学旅行の班別学習とその振り返り
	2 学期	・環境学習プログラム（生物多様性を考えよう）	・色々な高校の特色を知り、将来を考えよう	・将来を見据えた進路を考えよう
	3 学期	・名古屋スタディツアー（キャリア学習）	・スキー学習とその振り返り	・自分の進路に向かって
各 教 科 等 の 関 連	国 語	自分の思いや考えを深めるため、対象と言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉え、その関係性を問い直して意味付けること。		
	社 会	社会的事象を、時期、推移などに注目して捉え、類似や差異などを明確にしたり、事象同士を因果関係などで関連付けたりすること。		
	数 学	事象を、数量や図形及びそれらの関係などに注目して捉え、論理的、統合的・発展的に考えること。		
	理 科	自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること。		
	音 楽	音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること。		
	美 術	感性や想像力を働かせ、対象や事象を、造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくり出すこと。		
	保健体育	運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること。		
	技術・家庭	生活や社会における事象を、技術・家庭科との関わり方の視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性等に着目して技術を最適化すること。		
	外国語	外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、目的・場面・状況等に応じて、情報や自分の考えなどを形成、整理、再構築すること。		
	道 徳	様々な事象を道徳的諸価値をもとに自己との関わりで広い視野から多面的・多角的に捉え、自己の人間としての生き方について考えること。		
特別活動	各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、集団や社会における問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現と関連付けること。			

【学習活動】	【指導方法】	【指導体制】	【学習の評価】
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態や生徒の実態を踏まえ探究課題を設定する。 ・地域の人、もの、ことを生かした学習活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動を重視する。 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。 ・パソコンやタブレットで調べ学習を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校指導体制を組織する。 ・情報提供機関としての特別教室や学校図書館の整備・充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。 ・個人内評価を重視する。